

学校だより



いなみっ子

令和5年9月21日

南砺市立井波小学校

9月号 第348号

井波小学校HPアドレス
<https://inami-e.nanto.ed.jp/>

(題字は昨年度県書き初め大会出場児童)

とやまゲンキッズ作戦の結果より

保健主事 中谷 真由美

6月に「とやまゲンキッズ作戦」を実施しました。「生活習慣」「食生活」「運動と休養」「からだ」「こころ」の5つの項目について、合計35個の質問に答えることで、子供一人一人が自分を見つめ、生活上の問題点を発見し、目当てを立てて健康づくりに取り組むことを目的としています。私も我が子が低学年の頃は、「ちゃんと毎日ハンカチ持っていったる?」「あんまりお手伝いしてないよね。今度洗濯物を干すの手伝ってね。」など、話をしながら記入したのを思い出します。

今年度は「とやま元気っ子チャレンジ」という「健康&運動支援Webアプリ」を使い、1・2年生は保護者の方と一緒に、3～6年生は学校で入力しました。お子さんの入力結果は「とやま元気っ子チャレンジ」で確認することができます。

本校では、「自分のよいところを知っていますか」「仲のよい友達がいいますか」に「はい」と答えた子供の割合が県平均と比べて高い結果でした。ご家族、地域の皆様方が日頃より温かく子供たちの成長を見守り、励ましの声を掛けてくださっているおかげだと思います。一方で「いつも清潔なハンカチを身に着けていますか」「姿勢に気を付けていますか」に「はい」と答えた子供の割合が昨年度より5ポイント以上減っており、県平均よりも低い結果でした。そこで、1学期末に低学年に「手洗いチェッカー」を使って指導したり、清潔なハンカチの必要性について説明したりしました。2学期には3年生以上でも同様に指導し、子供自身が必要感をもてるようにしたいと思います。また、子供たちが正しい姿勢を意識しやすいように「足ペタン・背筋ピン・お腹と背中にグー1つ」と学級で声を掛けたり、「姿勢チェック」「姿勢体操」を行ったりするなど、指導を工夫したいと考えています。

学校と家庭が連携し、子供たちが心身共に健康に過ごせるよう、今後ともご協力をお願いします。



夢色虹色の歌声を受け継いでいく

合唱部担当 赤坂 彩佳

本校合唱部は、77年の伝統があります。しかし、ここまで歴史がある学校は大変めずらしく、指導者の異動や部員数の減少によって、活動を続けていくことが難しい学校も多いようです。本校でも、この伝統を受け継いでいくために、合唱部の在り方を見直す時期が来ています。そこで今年度から、合唱部父母の会が中心となって合唱部の運営をしてくださっています。今回、富山県代表として出場したNHK全国学校音楽コンクール東海北陸ブロックコンクールでも、準備を含め、活動における様々なサポートを父母の会の皆さんがしてくださりました。当日、保護者の方の思いも背負った合唱部の子供たちの歌声は、愛知県稲沢市のホールに色鮮やかに響きました。

私は、今年度の課題曲「緑の虎」が特に気に入っています。「心に広げた白い紙 手には夢色虹色ペン」というフレーズを聞くと、「夜空に浮かぶ星を金平糖に変えた」、「近所の猫とお話をした」など、虹色鉛筆で夢が書き綴られている一冊の絵日記を思い出します。幼少期、魔法使いになりたかった私が毎日せっせと書いていた夢日記です。私は今でも、空想の世界はどこまでも広げることができると思っています。合唱部の子供たちにも、この歌のように素敵な世界を自分たちで広げてほしいです。

本番を終えた帰りのバスの中で、子供たちはずっと歌っていました。楽しそうに歌うその表情は、満足そうで、とても輝いて見えました。私は、合唱部の子供たちの伸び伸びとした歌声が大好きです。これからも、夢を描く虹色ペンのように、聞く人の心を彩る歌声で人々から愛される井波小学校合唱部が続いていくことを願っています。